教員の教育・研究活動報告

役職／職名	英米語専攻長／教授	所属	外国語学部 英米語学科
ふりがな	おかだ しん	生年	1955年
学歴	1974年4月　早稲田大学政治経済学部政治学科入学 1978年3月　早稲田大学政治経済学部政治学科卒業（政治学士） 1980年3月　名古屋大学大学院法学研究科博士前期課程修了（法学修士）		
学位	政治学士（早稲田大学） 法学修士（名古屋大学）		
研究分野	イギリス現代政治史		
研究テーマ	イギリスにおける自由党の再生と衰落、労働党の勃興		

主な研究業績

著書

題名	単・共	発行日	発行所名	備考
『世界システムの歴史的構図』	共	1993	溪水社	
『西洋政治思想史Ⅱ』	共	1995	新評論	
『書誌をつくる』	共	1997	紀伊国屋書店	
『世界地域学への招待』	共	1998	嵯峨野書院	
『ネイションとエスニシティ』	共	1999	名古屋大学出版会	
『英語で読む社会科学の古典：Classics of the social sciences』	共	1999	嵯峨野書院	
『日米の社会保障とその背景』	共	2010	大学教育出版	

学術論文

題名	単・共	発行・発表日	発行雑誌又は発行学会等の名称	備考
「イギリス実証主義者と労働運動」	単	1992	『法学雑誌』 大阪市立大学	
「『自由党再生の遠望基盤―新自由主義論争とエドワーディアン・リベラリズムの構造：要綱』」	単	1991	『世界システムの変容と国民統合』 大阪外国語大学	
「『自由帝国主義と新自由主義―エドワーディアン・リベラリズムの形成-1-』」	単	1991	『大阪外国語大学論集』 大阪外国語大学	
「『自由党再生の地帯構造』」	単	1993	『英語圏世界の総合的研究』 大阪外国語大学	
「『自由帝国主義と新自由主義―エドワーディアン・リベラリズムの形成-２-』」	単	1994	『大阪外国語大学論集』 大阪外国語大学	
9『世界地域学ガブックガイド』―世界地域研究基本文献目録』	単	1996	書誌索引展望／日本索引索協会	
「近代イギリス論争史研究序説―第三次論争志（改正後のイギリスの政治変動）」	単	1997	『イギリス研究の動向と課題』、大阪外国語大学	
「『ハロルド・ラスキの国伝と階級―Isaac Kramnick & Barry Sheerman の伝記にみせて』」	単	1999	『英米研究』 23号、大阪外国語大学英米学会	
「変貌する労働党の綱書―K.O.モーガンのイギリス労働党研究について」	単	1999	『現代社会主義社会の新動向』 大阪外国語大学	
「アイルランド―関税とイギリス政治の転換―1865年総選挙における自由党の分裂―」	単	2000	『グローバル・ヒストリーの構築と歴史記述の刷程』 大阪外国語大学	
「19世紀末における自由党の衰退」	単	2001	『国際社会への歩元的アプローチ』、大阪外国語大学	
『書評：Martin Pugh, The making of Modern Britain―各極の興隆と没江の歴様―』	単	2003	『Ex Oriente』 Vol.9、大阪外国語大学言語社会学会。	
「『自由党の衰退と反双―19世紀末イギリス総選挙と補欠選挙―』」	単	2004	『英米研究』 28号、大阪外国語大学英米学会。	
「『1906年総選挙と自由党の再生―20世紀初頭の補欠選挙と1906年総選挙における対決の構図―』」	単	2006	『英米研究』 30号、大阪外国語大学英米学会。	
「『1906年総選挙における自由党の再生と労働党―二人区の爆票分析―』」	単	2006	『英米研究』 31号、大阪外国語大学英米学会。	
「『1906年総選挙における自由党の選挙基盤―一人区の爆票分析』」	単	2008	『英米研究』 32号、大阪外国語大学英米学会。	
「『自由党四種下の補欠選挙―統びる自由党の基盤１９０６年―１９０９年』」	単	2009	『英米研究』 33号、大阪外国語大学英米学会。	
「『危機の時代の自由党―補欠選挙１９１１年―１４年』」	単	2011	『英米研究』 35号、大阪外国語大学英米学会。	
「『憲政危機と諸利の陥罪――１９１０年１月総選挙と１２月総選挙―』」	単	2012	『英米研究』 36号、大阪外国語大学英米学会。	
「『投票率と１９１０年総選挙』」	単	2013	『英米研究』 37号、大阪外国語大学英米学会。	
「『第一次大戦下の補欠選挙1914~1918―総力戦の衝撃―』」	単	2014	『英米研究』 38号、大阪外国語大学英米学会。	
「『サルフォード北補欠選挙と自由党の衰退』」	単	2015	『英米研究』 39号、大阪外国語大学英米学会。	
「『1918年総選挙と自由党・労働党―人区における政党の対決の構図』」	単	2016	『英米研究』 40号、大阪外国語大学英米学会。	
「『1918年総選挙と自由党・労働党―二人区における政党の対決の構図』」	単	2017	『英米研究』 41号、大阪外国語大学英米学会。	
「『自由党の分裂と労働党―1918年総選挙二人区の帰況』」	単	2018	『英米研究』 42号、大阪外国語大学英米学会。	
「『1918年総選挙二人区における自由党と労働党-労働党が議席を獲得できなかった選挙区―』」	単	2019	『英米研究』 第43号 大阪大学英米学会	
「『1918年総選挙一人区における労働党の戦績』」	単	2020	『英米研究』 第44号 大阪大学英米学会	
総力戦の体験学―『ウェールズの魔術師』と『新しいイギリス』―	単	2022	『アルテス・ムンディ』、名古屋外国語大学ワールド・リベラル・アーツセンター	
権力の修辞学―『ウェールズの魔術師』と戦時内閣の成立―	単	2023	『アルテス・ムンディ』、名古屋外国語大学ワールド・リベラル・アーツセンター	
統質の修辞学―『ウェールズの魔術師』と『クーポン選挙』―	単	2024	『アルテス・ムンディ』、名古屋外国語大学ワールド・リベラル・アーツセンター	

主な教育上の業績

大学教育の改善に関する活動

活動事項	年月	備考
イギリス社会研究（文化概論）オンデマンド配信	2001	
Integrated English（総合英語）オンデマンド配信	2001	

作成した教科書

教科書名（対象講義名）	単・共	年月	備考
『西洋政治思想史 Ⅱ』（	共	1995	
『ネーションとエスニシティ』	共	1999	
『英語で読む社会科学の古典: Classics of the social sciences』	共	1999	

主な職務上の業績

社会的活動等

活動事項	期間（年月）	活動機関名
国際協力事業団　研修講師	1990から 現在に至る	国際協力事業団

所属学会

所属学会名称

所属学会名称
社会思想史学会
西洋史学会
大阪大学英米学会
大阪大学言語社会学会

所属学会役員歴等

所属学会及び役員名	期間（年月）	備考
大阪大学言語社会学会代表理事	2019-2020	

主な職歴

期間（年月）	事項	備考
1981	大阪外国語大学助手	
1985	文部省在外研究員	
1987	大阪外国語大学講師	
1993	大阪外国語大学助教授	
2003	大阪外国語大学教授	
2007	大阪大学言語文化研究科教授	
2017	大阪大学評議員	
2019	大阪大学言語文化研究科研究科長	
2021	名古屋外国語大学外国語学部教授　英米語専攻長	

主な担当科目と授業の改善と工夫

主な担当科目名 対象学部・学科

担当科目名	対象学部・学科
イギリス社会研究	名古屋外国語大学外国語学部英米語学科
Advanced Reading	名古屋外国語大学外国語学部英米語学科
英語圏文化研究	名古屋外国語大学外国語学部英米語学科
ゼミナール（イギリス研究）	名古屋外国語大学外国語学部英米語学科